

外坪区の憩いの場として、愛され続けています!



外坪区ふれあいサロン「ほっこり」5周年記念 地域ふれあい会食会

平成30年2月14日 ●サロン開催日:第2・4水曜日 9:00~12:00 ●場所:外坪学共

CONTENTS

- ② ★ふれあいサロン会食会
- ③ ★生活支援おたすけ隊研修受講者募集
★生活支援サービスって何?
- ④ ★大口西小学校 西っ子発表会
- ⑤ ★平成29年度 福祉体験作文コンクール 入選作品
- ⑥ ★赤い羽根共同募金
- ⑦ ★おせち料理配布事業
★障がい者スポーツ大会★善意だより
- ⑧ ★町内福祉関係団体のご紹介
- ⑩ ★介護豆知識
- ⑪ ★大口子育て情報ぎゅっと
- ⑫ ★ボランティア情報局
- ⑭ ★太極拳で、体も心も健康に
★創業120周年記念
「クラシック&ポピュラーコンサート」
- ⑮ ★日常生活自立支援事業
★東日本大震災から7年
大口絆つなぐネットパネル展

社会福祉法人

事務局

大口町社会福祉協議会

月~金(土日祝・年末年始休) 8:30~17:15

電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059

〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地

大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp





外坪区ほっこり

懐かしいハーモニカの音色とともに賑わう会場(外坪学共)

地域みんなでささえるしくみ～地域包括ケアシステムってこういうこと①

地域ふれあい会食会

社協は毎年、民生委員さんのご協力で、単身高齢者や高齢者世帯の方の見守りを兼ねて、年末におせち料理をお届けしています。しかし、対象年齢が限られることが課題でした。年齢を問わず、地域住民の誰でも参加できる居場所で会食会ができれば…さらに、地域のつながりが見守りが生まれるきっかけになるのではないのでしょうか？

そんな思いをかたちに「地域ふれあい会食会」が始まっています。

2月14日(水)、外坪区ふれあいサロンほっこりと「河北区ふれあいサロン陽だまり」では、参加費100円で、まぜご飯と温かい汁物などを提供する会食会を開催し、社協も協力しました。

高年齢参加者のAさん「いつも、昼はひとりで食べると。誰かと食べるとおいしい。今日初めて来ている人に出会えた。また来たい。」

サロンスタッフのBさん「昔はよく近所で集まって料理したけど、今はほとんどない。準備は大変だけど、一緒にやると楽しい。みなさんに喜んでもらえてよかった！」

地元の方が得意のハーモニカやおどりを披露する催しもあり、各サロンと会食会は50名以上が参加。

住民のみなさまが主役となり、地域のつながりで見守り、ささえるしくみが育まれます。

普段の茶話会サロンもお越しください！

●外坪区ふれあいサロン ほっこり

第2・第4水曜日

9時30分～11時30分 外坪学共

参加費 100円

●河北区ふれあいサロン 陽だまり

第2水曜日 9時30分～11時30分

河北学共・仲沖集会場・二ツ屋学共

(3会場持ち回り) 参加費 100円



「ご近所さんの前だと緊張する～」とおっしゃるおどりのみなさまでしたが、お見事！



河北区陽だまり

「今日はお昼もあるで、食べてっね～」サロンスタッフのみなさま(河北学共) サロンを始めた頃は、これでいいのかな～？と不安もありましたが、今では楽しく運営をしています！

募集

大口町の困っとる人をほかっとけん! 住民参加型生活支援サービス **おたすけ隊** 研修受講者募集



「毎日の生活で、ちょっと困っとることを助けて欲しいなあ・・・」という高齢者や障がい者、子育て中の方などを「おたすけ」してくださる方を募集します。おたすけ隊とは、住民どうしのたすけあい活動のひとつで、社協が利用申込み受付や訪問の調整などのお手伝いをします。サービスのスタートは、秋頃を予定しています。

「いずれ自分もお世話になる日がくる」「地元への恩返しに何かしたい」「おたすけ隊の活動が知りたい」・・・どんなきっかけでも構いません。おたすけ隊研修をのぞいてみませんか?

	日時	内容
第1回	5/31(木)	●地域の支え合いのしくみ・生活支援って何? ●困っている人の困りごとを知ろう
第2回	6/7(木)	●ヘルパーのできない生活支援があるの? ●訪問のルール・マナー、緊急時の対応 ●コミュニケーションのコツ

- 場 所 大口町生きがい活動支援センター(大口町伝右一丁目47番地)
- 定 員 20名程度
- 対象者 町内在住・在勤の方
初めて地域で活動する方、おたすけ隊の活動に興味のある方歓迎
- 参加費 無料
- 申込み 窓口または電話、FAXで受付
- 問合せ **社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059**

Q.おたすけ隊って何をするの?

A.困っている方のご自宅を訪問して、掃除、買い物、電球交換、ゴミ捨てなど、住民どうしが「お互い様」の気持ちでできる簡単なお手伝いをします。

Q.おたすけ隊の活動ってボランティア?

A.『おたすけ隊』は、住民のみなさんのたすけあいを基本とした非営利・低料金のサービスであり、交通費程度の協力費をお支払いします。30分300円(上限1時間30分で900円)、ゴミ出しなどの短時間のお手伝いは1回100円の予定です。

生活支援サービスって何? 社会福祉協議会合同研修会レポート



津島市社協
生活支援コーディネーター
鴻巣氏

2月27日(火)、健康文化センター1階多目的室で「社協合同研修会」を開催し、社協の理事・監事・評議員と民生委員のみなさま、総勢50名にご参加いただきました。

今年度の研修テーマは「地域みんなでささえるしくみ」生活支援サービスについて。大口社協は平成30年度から「おたすけ隊」を計画していますが、そもそも生活支援サービスって何?というところから、知っていただく研修を企画しました。

今回は、津島市社協の生活支援コーディネーター鴻巣氏をお招きし、「つしま家事サポーター」の活動をとおして、生活支援をわかりやすくご紹介いただきました。

家事サポーターは、「まだ介護までは必要ないけれど、ちょっとした手助けが欲しい」というときのたすけあいのしくみで、利用者も担い手も住民のみなさまで、利用申込みの受付や訪問の調整、サポーターの研修などは、社協職員が行います。掃除、買い物、ゴミ捨てなど実際のお手伝いは、サポーターが利用者の希望



グループで生活支援をイメージしました

を聞きながら、工夫して行っているそうです。

「つしま家事サポーター」で生活支援をイメージした後は、大口町の生活支援をグループでイメージしました。

大口町には、すでにいろいろな生活支援のサービスやたすけあいがあります。しかし、これから高齢化がさらに進むと、今あるものだけでは補いきれないことも。

そこで、新たな選択肢のひとつとして、地域住民のみなさまのたすけあいを「おたすけ隊」というしくみにして、社協がお手伝いさせていただきます。

あえて低料金の有償サービスとすることで、タダでは申し訳ないという気兼ねはなし。利用料金は、協力費としてお支払いした方にお支払いするため、社協のもうけはゼロの非営利サービスです。

「おたすけ隊」の趣旨をご理解くださる住民のみなさま、ご参加をお待ちしております。

(大口社協生活支援コーディネーター)

特集

大町西小学校 西っ子発表会

～福祉実践教室の学びから～

子どもたちの
輝かしい姿を
取材してきました！



障害物に注意しながら、下級生が乗った車いすを介助する児童。その表情は真剣そのもの。そうそう、『声かけ』が大事なんだよね！

「西っ子発表会」では、児童たちが講師役として、科目ごとのブースに分かれてクイズや体験を交えながら発表。手話をまじえた合唱も披露し、盛大な拍手が送られました。

これまで西小学校の6年生は、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマとした学習（福祉実践教室）を行ってきました。

「西っ子発表会」では、児童たちが講師役として、科目ごとのブースに分かれてクイズや体験を交えながら発表。手話をまじえた合唱も披露し、盛大な拍手が送られました。

町内すべての小中学校で実施されている「福祉実践教室」。いまや学校教育における福祉教育として定着していますが、長年にわたって社会福祉協議会が支援してきた取り組みのひとつです。



「ロープをこうやって結ぶと命綱として使えて、災害が起こった時に役立つよ！」いつ起きてもおかしくない災害に備えて、普段から練習しておくことが大切です。



福祉実践教室を通して学んだことを友達同士で、また下級生や保護者に対して教える児童たち。それぞれのブースでの発表はとても分かりやすく、創意工夫されていました。

また、当日は福祉実践教室で講師を務めて頂いた方も参加されており、高齢者疑似体験の装具を取りつける動作や防災に関わるロープを結ぶ動作など、児童たちががんばりと実技をこなす姿に、参加された講師からは「すごい！」と驚きの声も。



高齢者疑似体験の装具を取りつけている様子。手足におもりをつけ、目にはゴーグル…お年寄りの方はどんな不便さを感じているのかな？



お父さんお母さんも体験中！

体験中、階段の昇降が特に怖いと感じましたが、常に児童が「段差まであと何センチです」「足先で目の前に階段があることを確認してください」などと丁寧にガイドしてくれたおかげで、安心して歩くことができました。

実際に体験することによって、障がいをもつ当事者の特性や気持ちを理解することにつながります。

子どももお年寄りも、障がいのある人もない人も、すべての人々がお互いを尊重し、ともに生きられる「共生」社会をつくりだしていくためには、子どもの頃から生涯にわたる福祉教育が大切であると言われています。

生涯にわたる福祉教育の第歩として、小中学校で実施されている福祉実践教室。この教室で学んだ「ともに生きることの大切さ」を大人になっても忘れることなく、将来の地域社会を担っていく人材として成長していってほしいことを期待しています！

今回、西っ子発表会を取材している最中、実際にガイドヘルプを体験してみました。アイマスクをつけてガイド役の児童の腕を掴み、障害物が数か所あるルートを歩きます。



しょうがい者とながる

大町立大町北小学校五年

加藤 虹海
かとう ななみ

わたしには、耳が不自由なところがあります。かれは、わたしと同じ五年生です。耳に器具をつけていないと、何も聞こえません。ふだんは、人工内耳とほちよう器をつけて生活しています。

かれは、今、電車で通学をしています。満員の電車やバスに乗り、一人で行くのはこわくはないのだろうか、と思うことがあります。

時々しか会えないけれど、かれといっしょに出かけて、ひやりとしたことが何度もあります。信号が赤になりかけているのに、わたろうとしていたかれに、名前をよんでも気づいてくれなかったこと、ホームにいる時に、電車が来ても気づかず、あぶない思いをしたことがありました。だれかが近くにいないと危険を回ひすることができないのです。耳が不自由だと知っているわたし達は、気かけ、声がとどかなかった時には、かたをたたいたり、手をつないだりしますが、一人の時は、それができません。かれが、一人で学校に行く時は、音だけでなく、景色を覚えて、目や耳のかわりをしてしていると家族はいいます。言葉を話すことはできますが、電車がおくれた時など、いつもとちが

うと、パニックになってしまうこともあるので、やっぱり心配だと思っています。

私は、学校で福祉の勉強をしました。手話や点字、もうどう犬について、体験をしながら学びました。手話では、あいさつなどのかんたんなことをやります。でも、しょうがいのある人との会話では、少ししか役に立ちません。かれとの会話で、思ったことや言いたいことが伝わらず、おたがいにイライラしてしまったり、悲しい思いをしたりしたことがあります。

最近では、福祉に興味を持つ人がふえています。安心してしょうがい者が生活できるほど、わたしたちの意識は高くないと思います。

学校で言葉を習うように、手話や点字など、もっと積極的に学び、だれもがしょうがい者とながれるようになれば、きつという不安がへると思います。



入選してうれしいです。もっといろんな人に福祉について知ってもらいたいし、自分でも広めていきたいと思いました。



平成29年度 福祉体験作文コンクール

児童・生徒が体験したことを通して、感じたことや考えたことを素直な気持ちで作文に表し、ともに生きる福祉の心を育てることを目的とした愛知県社会福祉協議会主催のコンクール。

県内の小・中・高等学校から応募のあった作品705の中から、27編が入選作品として表彰されました。



大口町更生保護女性会様による歳末たすけあい街頭募金(平成29年12月23日 ヨシヅヤ大口店様)



じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



募金総額 3,484,035円

●赤い羽根共同募金

区 分	件 数	金 額(円)
戸別募金	4,834	2,337,758
街頭募金	5	84,766
法人募金	4	60,000
職域募金	31	491,491
自動販売機	2	313,098
その他募金	-	51,836
合 計	4,876	3,338,949

●歳末たすけあい募金

区 分	件 数	金 額(円)
街頭募金	3	67,115
職域募金	17	34,203
その他募金	6	43,768
合 計	26	145,086

(最終実績報告 平成30年1月31日現在)

PICK UP 募金機能付き自動販売機からの募金

飲料の通常購入価格の一部が募金となる自動販売機で、年間を通して気軽に募金いただくことができます。健康文化センターほほえみプラザ1階と、大口一期一会荘の2か所に設置されています。



御 礼

平成29年度の赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金について、町民の皆様、企業・法人様のあたたかいご支援とご協力により、多大な成果を上げることができました。心より御礼申し上げます。

お寄せいただきました募金は、大口町の地域福祉推進の貴重な財源として、有効に活用させていただきます。

今後とも共同募金へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会
会長 水野 多三男

歳末たすけあい募金にご協力いただいた皆様 ありがとうございました (敬称略)

町民の皆様

アピタ大口店、ヨシヅヤ大口店、バロースーパーマーケット大口店、ホームセンターバロー大口店、(福)愛生福祉会 特別養護老人ホーム御桜乃里、(福)一期一会福祉会 大口一期一会荘、(福)おおぐち福祉会 ハートフル大口、(社)尾北医師会、尾北看護専門学校、大口郵便局、大口南郵便局、JA愛知北大口支店、大口町商工会、大口町役場、NPO法人憩いの四季、喫茶ほほえみ、(社)大口町コミュニティ・ワークセンター、大口町民生委員・児童委員協議会、大口町更生保護女性会、大口町心身障害児(者)親の会





大口町水彩画クラブの皆様による絵手紙を添えたおせち料理。皆様から寄せられた赤い羽根共同募金がかたちを変え、お年寄りの年末年始の食卓に届けられました。

ひとり暮らしの高齢者・高齢者世帯の方へ

おせち料理配布事業

大口社協では、赤い羽根共同募金を活用し、民生委員さんのご協力により、ひとり暮らしの高齢者の方等へおせち料理をお届けしています。

担当地区の民生委員さんが事前に対象世帯からの申込みを受け付け、12月30日に年末の見守りを兼ねて、おせち料理をご自宅までお届けしました。

(※)対象世帯は、大口町内在住の85歳以上の単身世帯、または85歳以上の方のみで構成された世帯です。

募集

障がいをお持ちの方とそのご家族の参加者募集

障がい者スポーツ大会



- 日 時 平成30年6月9日(土)
午前9時30分受付開始
午前10時開始(終了予定は午後2時)
- 場 所 大口町中央公民館
- 参加要件 「身体障害者手帳」、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方及びそのご家族の方
- 申込み先 大口町社会福祉協議会 94-0060
障がい者スポーツ大会には、赤い羽根共同募金が活用されています。

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。また、大口町共同募金委員会が社協窓口で募集した災害義援金についても、あわせてご報告します。

●平成29年度災害義援金 送金実績報告

順不同(平成29年4月4日～平成30年2月28日取扱い分)

義援金名称	金額(円)
鳥取県中部地震災害義援金	1,938円
岩手県台風10号大雨等災害義援金	2,037円
糸魚川市大規模火災義援金	5,280円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	33,999円
大分県豪雨災害義援金	1,277円
秋田県大雨災害義援金	1,104円
台風21号三重県災害義援金	3,135円
和歌山県平成29年台風第21号災害義援金	1,296円
合 計	50,066円



愛知県立丹羽高等学校 生徒会 様

●寄付・寄贈

順不同(平成29年12月1日～平成30年2月28日取扱い分)

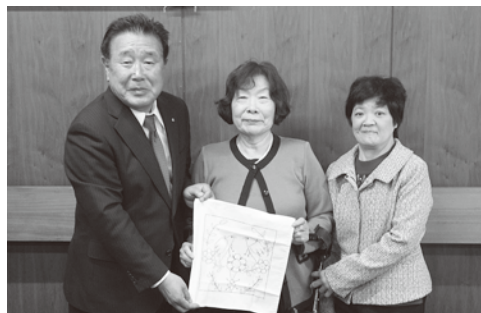
ダンスサークル大口 吉川 弘雄 様	60,000円
ボランティアなでしこ 様	15,000円
豊淑五会 様	34,305円
大口町建設協力会 様	100,000円
大口北小卒(昭和26年) 同窓生一同 様	19,020円
河北太極拳同好会 様	18,500円
愛知県立丹羽高等学校 生徒会 様	23,797円
オークマ株式会社 様	26,898円
匿名希望	10,000円
斉木春子 様	カラオケセット一式
緒方友子 様	手芸用はぎれ
小林英人 様	大人用おむつ(新品未使用)
田中克明 様	下着類(新品未使用)

町内福祉関係団体のご紹介

(会員数は平成30年2月28日現在のデータ。各団体に関するお問い合わせ・入会希望等は、大口社協 94-0060まで)

大口町身体障害者福祉協会

会員数 49名



交通安全グッズを町長へ手渡す山田会長と
会計・長谷川氏



江南警察署の方々と一緒に、
交通安全キャンペーン(パロー大口店)

女性部

交通安全グッズを 町へ贈呈

身体の不自由さを知る当事者だからこそ、皆に身体を大切にしたい、交通事故がなくなりたい、という願いを込めて…。

平成29年度のグッズは、一針一針刺しゅうを縫い上げたハンカチーフ。半年をかけて290枚を準備しました。



大口町身体障害者福祉協会は大口町の身体障がい者の福祉向上や文化活動の支援、スポーツ活動の振興を目的として、昭和33年に創設された、当事者の団体です。

会員は定期的につどい、季節の行事、研修会、講演会、近隣市町の身障協会との交流等を行っています。

また、女性部は毎年、自分たちができる社会貢献活動として、交通安全グッズをひとつひとつ手作りをし、町へ贈呈。

毎年11月、警察署の交通安全キャンペーンとして、町内スーパーで来店者へグッズを配布しながら交通安全を呼びかける活動を続けています。

大口町母子寡婦福祉会 会員数 34名

大口町母子寡婦福祉会は、母子家庭及び寡婦の福祉向上を目的とした団体です。

戦後まもなく、母子福祉会として戦後遺児のための支援を行う団体として全国に広まり、のちに配偶者に先立たれた寡婦の支援も行う母子寡婦福祉会となりました。

会では、会員相互の親睦、生活意欲の向上を図るための活動を行っています。



- ・母子家庭の生活相談
- ・クリスマス贈物配布事業
- ・入学・進学祝い品配布事業
- ・会員の交流と親睦をはかる
- ・目的の日帰り旅行、研修会等

大口町遺族会 会員数 143名

遺族会は、太平洋戦争において戦地等で亡くなった戦没者遺族の全国組織として、昭和22年に創設されました。

主に、戦没者の慰霊、遺族の福祉の増進、生活相談等の事業を行っています。

大口町遺族会では、全国戦没者追悼式、愛知県護国神社等の参拝、大口町平和祈念事業における慰霊祭等に出席しています。

また、平和の尊さ・命の尊さを次世代に伝承することを目的に、毎年、大口中学校2年生を対象とした「平和学習会」



大口中学校平和学習会「語り部の会」
(町民会館)

に講師を派遣しています。

平成29年度は、犬山市在住の時々輪齊子(じじわせい)こさんが戦争の語り部となり、戦争の悲惨さや遺族の思いを中学生に伝える「語り部の会」を開催しました。

大口町心身障害児(者)親の会 会員数 36名

大口町心身障害児(者)親の会は、昭和54年に4人の親たちが「知的・身体に障がい」をもつわが子の幸せを願い、地域で生活できる仕組みの充実に努めようと、仲間の親たちと呼びかけて発足しました。大口町内在住・大口町内の事業所を利用して、心身障害児(者)を保護・養育している保護者で結成された会です。



『親の会』主催 クリスマス会

また、近隣市町の『親の会』と交流をはかり、研修や情報交換を行いながら、会員の資質向上に努めています。

12月3日、健康文化センターほほえみホールで、クリスマス会を開催しました。日頃親の会を温かく見守り支えてくださる町長をはじめ、町議員、町職員、丹羽ライオンズクラブ、民生委員・児童委員、ボランティアの皆様をお招きし、総勢90名が参加しました。

今年の出し物は、タップダンス・サカイダコージさんとEloooさんによるタップダンスでした。あまり馴染みのないタップダンスを間近で見ることができて大興奮。ダンサーのおふたりがタップのやり方も教えてくださりました。また、クリスマスソングに合わせたピアノ演奏や、タップダンスとのコラボレーションも素晴らしかったです。クリスマス会の後日にもタップダンス



『親の会』クリスマス会の様子
(健康文化センター4階ほほえみホール)

を踊る子どもたちもいました。毎年恒例、町長と丹羽ライオンズクラブ会長がサンタクロースになりきり、親の会参加者にプレゼントが手渡され、みんなにこにこ。笑顔あふれる楽しいクリスマス会のひとときを過ごしました。



大口しらゆり会 会員数 4名

大口しらゆり会は、こころの病をもつ人の家族会。平成23年、尾北しらゆり会の大口支部として発足し、平成28年4月より各支部が独立した家族会となったため、名称を『大口しらゆり会』に改めました。

毎月(2月・8月を除く)第1土曜日、午前10時から健康文化センター2階のボランティア室で例会を実施。こころの病をもつ人の家族どうしが、同じような悩みや将来について本音で語り合い、情報交換をしながら、支え合う活動を行っています。

また、ボランティア「さくらんぼ」と力を合わせ、『フリースペースれんげそう』の運営も行っています。



大口しらゆり会会員とボランティアさくらんぼ

障がい者スポーツを楽しむ「ム〜の会」

『親の会』では、毎月第2日曜日、扶桑町の『父母の会』と合同で、「ム〜の会」という障がい者スポーツを楽しむ会を行っています。

今年度より、実施場所が扶桑町体育館トレーニング室から大口町健康文化センター多目的室に変更となりました。

障がいのある人(子ども)チームとその親チームが、フライングディスクやキュラシーやボッチャの対戦をすると、毎回子どもチーム

が圧勝！

ム〜の会も今年で4年目。皆さんとても上達しました。毎月毎月の小さな積み重ねが、本当に強い力になります。

これからも、障がいのある人もない人も、ともに楽しめるスポーツを通して交流を深め、余暇活動を楽しんでいきます。



※社協は、障がい者スポーツ用品の貸出により、「ム〜の会」の活動を支援しています。



今回の豆知識は「入れ歯」をテーマにした2回目です。

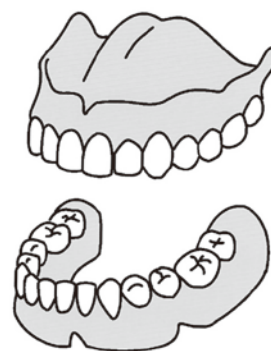
入れ歯を使用している人が、むし歯や歯周病を予防するためには、「入れ歯と歯が抜けているところ」の両方をお手入れすることが大切です。今回は、入れ歯の種類や特徴、お手入れ方法をご紹介します。

入れ歯の種類

歯が部分的に残っている場合に装着する部分入れ歯



歯が全てなくなった場合に装着する総入れ歯



入れ歯の特徴と注意点

入れ歯はおもに、プラスチックでできています。吸水性があるため、汚れや細菌、ニオイなども吸着されやすく、清掃を怠ると口臭の発生の原因にもなります。プラスチックは傷つきやすいため、間違ったお手入れをしていると、入れ歯表面に傷をつけ、さらに細菌が付着しやすくなります。

入れ歯のお手入れ方法

① 入れ歯をはずし、落として破損したり、排水溝に流したりしないよう、洗面器など下に置いて水を流しながら洗います。



② 歯ぐきに当たるやわらかいところは、スポンジやガーゼで、やさしく洗います。



③ 金具の変形に注意しながら、小さい歯ブラシや歯間ブラシを使って、金具の内側も洗います。



④ 寝るときは、洗った後に、水に入れて保管しましょう。市販の入れ歯洗浄剤を併用すると効果的に清掃できます。



* 入れ歯洗浄剤には、部分入れ歯用と総入れ歯用とあります。適した物をご使用下さい。

残っている歯と歯肉も大切に

金具をかける歯や入れ歯と接している面に汚れがたまりやすいので、やさしく丁寧に磨きます。歯肉や舌の汚れが気になる時は、毛の歯ブラシやスポンジ、ガーゼ等で清掃します。

* 不具合があった時は、早めに歯医者さんに相談しましょう。

※次回は「高齢者にお勧めの趣味」を予定しています。

お問合せ先: 社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059



大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】大口町NPO登録団体
「まみーぽけっと」

【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

親子ふれあい広場

- ★場 所 健康文化センター2階 プレイルーム他
- ★日 時 第1・3木曜日(祝日の場合は変更)
- ★費 用 無料
- ★内 容 乳幼児をもつ親が日々の子育てに役立つことや、子育てが楽しくなるようなプログラムを用意しています。また、子育て中の親にとって情報交換の場となることを目的としています。
- ★運 営 NPO法人 子どもと文化の森
- ★協 力 子育て団体連絡協議会連絡先
- ★連絡先 福祉こども課 0587-94-1222

ちやいるどすぺーす

- ★場 所 子どもと文化の森交流広場
- ★日 時 月・火曜日 10:00~12:00(祝日・第5週は休み)
- ★費 用 1組300円/1回
- ★内 容 絵本や木のおもちゃがいっぱいのスペースです。子どもを見守るスタッフが3、4人いて、いろんな世代の方とおしゃべりしながら、ゆったりと時間を過ごせます。
- ★連絡先 子どもと文化の森 0587-94-1223
- ★対 象 未就園児親子

子育てサロン まむ＊まむ

- ★場 所 健康文化センター2階
おもちゃ図書館
- ★日 時 火曜日 10:00~12:00(祝日は除く)
- ★費 用 無料
- ★内 容 どなたでも気軽に参加でき、楽しく遊べるいこいの場です。
- ★運 営 支援ボランティア なすび〜ず
- ★連絡先 大口町社会福祉協議会
0587-94-0060

大口おもちゃ図書館さくら

- ★場 所 健康文化センター2階
おもちゃ図書館
- ★日 時 第2土曜日・第3木曜日 10:00~15:00
(祝日は除く)
- ★内 容 どなたでも気軽に参加できます。
おもちゃの貸出あり(第2土曜日、登録料・利用料なし) 目や耳の不自由な子ども達が一緒に楽しめるおもちゃも用意しています。
- ★連絡先 大口町社会福祉協議会
0587-94-0060

扶桑町おもちゃ図書館

- ★場 所 扶桑町総合福祉センター3階 おもちゃ図書館
- ★日 時 火曜日~日曜日 10:00~17:00(第1金曜日午前中は発達障害児とその親等対象)
- ★費 用 おもちゃ図書館のみ利用は無料
- ★内 容 第3火曜日は11:00からボランティアさんによるおたのしみ会があります。
- ★運 営 支援ボランティア ピノキオ、ひよっこ、アイリス
- ★連絡先 扶桑町社会福祉協議会 0587-93-4300

ボランティア情報局

ボランティア活動保険って？

「どんなときに補償されますか～？」

傷害事故・・・ボランティア活動中の急激・偶然・外来の事故によりケガをした場合に保険金をお支払いします。

- ボランティア活動中に転んでケガをした。
- ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあった。
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。

賠償事故・・・ボランティアがボランティア活動中の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより法律上の賠償責任を負った場合に保険金をお支払いします。

- ボランティア活動中、誤って他人にケガをさせた。
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤ってガラスを割った。
- ボランティア活動で後片付け中、誤って他人にケガをさせた。

「どんな人が入れますか～？」

自発的な意思に基づき、他人や社会に貢献する非営利のボランティア活動をおこなっている個人またはボランティアグループ、特定非営利活動法人(NPO法人)の方々が、加入できます。

「掛け金はいくらですか～？」

掛け金は年間250円から350円とコースによって違います。

お申し込み、お問い合わせは、大口町社会福祉協議会までお願いします。

障がい福祉関係

音訳ボランティア たんぽぽ…………… 広報の音訳

要約筆記サークル スマイル大口… 聴覚障がい者への要約筆記

大口町手話サークルほほえみ…………… 聴覚障がい者との交流、手話の勉強会

大口町手話サークルコスモス…………… 聴覚障がい者との交流、手話の勉強会

点訳フレンド…………… 広報の点訳

ガイドボランティアあい♡あい…………… 視覚障がい者外出支援

なでしこ…………… 手作り品の製作販売によるハートフル大口への支援

支援ボランティアなすび～ず…………… 『子育てサロンまむ*まむ』の運営

さくらんぼ…………… 精神障がい・発達障がいをもつ当事者のためのフリースペース「れんげそう」の運営

高齢者福祉関係

うさぎとかめ 高齢者疑似体験
 クリーンの会 高齢者施設の買い物介助
 給食ボランティアさくら ディサービスの給食作り
 調理ボランティアすみれ ディサービスの給食作り
 ヤグルマソウ 高齢者施設での化粧ボランティア
 介護ボランティアドリーム 買い物介助
 NPO 法人 わたぼうし 在宅高齢者の日常生活支援
 傾聴ボランティアだんぼ 『傾聴サロン笑桜会』の運営



災害ボランティア関係

D・サポート丹羽 防災活動
 災害支援ボランティア 防災活動、研修の実施
 大口絆つなぐネット 災害復興支援活動

子育て支援関係

おもちゃ病院おおぐち おもちゃの修理
 大口おもちゃ図書館さくら ... 遊びの広場・おもちゃ図書館の運営
 リトルベアーズ北 未就園児の子育てサークル
 リトルベアーズ南 未就園児の子育てサークル
 食育サポート 保育園での食育活動
 食育サポート南 南保育園児と農業体験



地域活動関係

親話会 地域安全パトロール
 NPO 法人 矢戸川をきれいにする会 .. 矢戸川周辺の清掃活動
 オカリナピッコロ 施設等でのオカリナ演奏活動
 編集ボランティアOZ ボランティアの情報発信

ボランティアサークル ここね デビュー

昨年11月のレクリエーションボランティア養成講座の参加者が、12月に河北区ふれあいサロン「陽だまり」からの依頼で、出前レクリエーションを披露。平成30年1月、「ここね」「心も体も温まるのよ」と言っていたようなレクリエーションボランティアを目指し、会員15名で「ここね」が誕生。

合唱や手遊びを楽しみ、サークルメンバーそれぞれが得意なことを活かし、歌や体操を披露。そして、養成講座で、演劇の楽しさを知ったメンバーがつくり上げた「おおきなかぶ」のオリジナル劇を初お披露目すると、登場人物の大口弁とアドリブに、大笑い!サロンのみなさんも、「うんとこしょ、どっこいしょ」のかけ声に参加して、会場がひとつになり大盛り上がりでした。



初披露の様子です～

平成30年3月現在に、大口町ボランティアセンターに登録しているボランティアサークルを紹介します。

キャッチ! おおぐちの健康づくり

太極拳で、体も心も健康に



大口町太極拳協会主催の太極拳

- 日 時 水曜教室 毎週水曜日 9:30～11:30
木曜教室 毎週木曜日 9:30～11:30
土曜教室 毎週土曜日 13:30～15:30
- 会 場 中央公民館3階 小体育室
- 服 装 動きやすい服装。シューズは不要です。
- 参 加 事前の申し込みは不要です。お気軽に、当日会場へ直接お越しください。
- 問合せ 体育協会事務局 温水プール2階 95-8800

大口町で盛んに行われている太極拳。長い時を超えて、中国に受け継がれてきた究極の健康法と言われているようですが、どんな魅力があるのでしょうか？太極拳教室にお邪魔し、その魅力に迫りました。

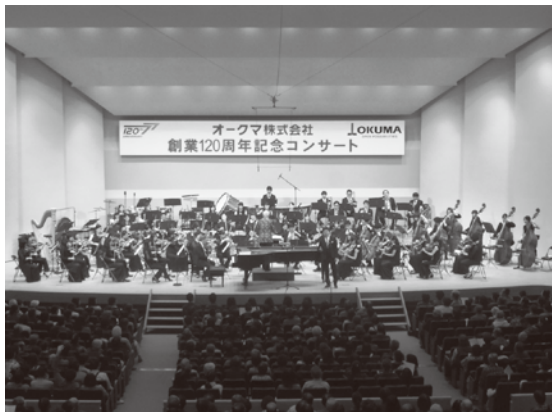
2月の末、中央公民館3階の小体育室に、40代～80代の男女35名ほどが集まっていました。外はまだ少し寒さが残る日でしたが、みなさま裸足に長袖シャツという軽装です。
やわらかな中国音楽が奏でられると、礼に始まり、呼吸を整え、自己の「気」の流れを感じながらゆっくりと動きます。

長年教室の指導にあたり、

大口町の太極拳の発展に貢献する長谷川房子先生は、次のように語ります。

「30年前から、大口町で太極拳をやっています。太極拳は、ゆっくりとした動きのため、老若男女、いつからでも始めることができそうです。足腰を丈夫にして、血液と「気」の流れを良くし、体調を整えます。また、やさしくおだやかな心で、和を大切にしています。」
体の健康づくりだけでなく、癒しの効果で心もおだやかになる太極拳。たくさんの方がその魅力に引き込まれています。

参加者は随時募集中です。はじめの一步、太極拳教室で始めてみませんか？



オークマ株式会社

創業120周年記念「クラシック & ポピュラーコンサート」

11月3日(金祝)、江南市民文化会館でオークマ株式会社(以下オークマ)様の創業120周年記念コンサートが開催されました。

オークマ様は、社会貢献活動にも力を入れており、このコンサートに大口町在住の障がいをお持ちの方とそのご家族及び介助者、ひとり親家庭の親子のみなさまをご招待いただきました。

指揮者は、テレビでおなじみの青島 広志氏。オーケストラは、中部フィルハーモニー交響楽団です。青島氏は軽快な話術で音楽家の人生や思いを伝えながら、演奏を進行。クラシックの名曲に続き、自らベートーヴェンの「エリゼのために」のピアノ演奏をしながら指揮を披露しました。

そして、曲目は、クラシックだけでなく子どもからお年寄りまで誰でも知っているジブリやディズニーのポップスへ。

さらに、テノール歌手の小野 勉氏が、オペラアリアを披露した後、最後はオークマ様の制服姿で登場し、観客全員で「手のひらを太陽に」を合唱。「ブルーアイランド先生」の楽しいコンサートに、会場は大いに盛り上がりしました。

大口町から参加された方からは、「本当に楽しかった。なかなか日頃行くことができないので、こんな素敵なコンサートに招待してもらえて、うれしかった。」と喜びの声がありました。

この記念コンサートの会場には、花木社長をはじめ、素晴らしい対応をされる社員のみなさまの姿があり、企業様の姿勢も垣間見ることができました。ご招待いただきましたオークマ様、ありがとうございました。



オークマ株式会社様より、創業120周年記念コンサートのCDを販売した売上金26,898円を社会福祉協議会へご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。

ご存知ですか？

に ち じ ょ う せ い か つ じ り つ し え ん じ ぎ ょ う

日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で
安心して生活できるように、
社会福祉協議会がサポートします。

公共料金の支払いや
お金の出し入れを
してほしい…。

通帳や印鑑をなくして
しまいそうで心配だ…。

ヘルパーさんを
頼みたいけど…
どうすればいいの
かしら？

このようなことで、お困りではありませんか？

どんな人が利用できるの？

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等
で、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安
な方や、お金の出し入れ、書類の管理をすることが
不安な方です。

※契約締結審査会の承認が必要です。

利用料はいくらかかるの？

援助内容	利用料
・福祉サービスの利用援助 ・日常的金銭管理サービス	1回1,200円 生活保護受給者は無料
書類等の預かりサービス	年間3,000円(月額 250円)

お気軽に
ご相談ください！

●お問い合わせ・ご相談先
社会福祉協議会 電話 94-0060
FAX 94-0059

どんなお手伝いをしてくれるの？

大口社協の専門員が支援計画をつくり、生活支援
員が定期的にご本人のところに伺い、お手伝いを
します。

●福祉サービス利用のお手伝いをします。

福祉サービスの利用に関する相談・情報提供、
利用料の支払い手続き、苦情解決制度の利用手
続き

●福祉サービス利用のお手伝いにあわせて、次の ようなサービスも利用できます。

- 日常的なお金の出し入れをお手伝いします。
年金や福祉手当の受領に必要な手続き、病院へ
の医療費・公共料金の支払いの手続き、生活費
に必要な預貯金の出し入れ等
- 日常生活に必要な事務手続きをお手伝いします。
住宅改造などに関する相談・情報提供、住民票の
届出等の手続き、日常生活上の消費契約の手続き
- 大切な書類等をお預かりします。

東日本大震災から7年 大口絆つなぐネットパネル展

お詫びと訂正
社協だより第101号(平成30年1月号)の
7ページ「社協会員加入実績報告」において、
法人会員の名称に誤りがございました。
正しくは、「ダイソー倉庫運輸(株)」様で
す。お詫びして訂正させていただきます。



健康文化センター1階
町民ギャラリー

今年「明日への備え」と題し、巨大地震に備える家具固定の大切

社協は毎年、3.11の前後に、震災を改める考える期間として、大口絆つなぐネットのパネル展を開催。被災者の経験を無駄にせず、震災を忘れないための活動を続けています。

震災から7度目の春。被災地の住居や道路、鉄路などまちの形は整備されつつありますが、人々の暮らしやコミュニティの再生は途上段階。今もなお約7万3千人が避難生活を送り、ふるさとに帰れない方がたくさんいるのが現状です。

「日頃の備え」とは、物を揃えることのみならず、災害に関する情報や知識を得ることも大切です。自分の命と大切な人の命を守るために、いまやるべきこと、そしていまでできることを改めて考えてみませんか。



大口絆つなぐネット

東日本大震災後の平成23年6月、岩手県遠野市内で震災復興支援ボランティアを派遣する拠点として、ボランティア・行政・社協によって立ち上げられ活動を開始。現在も、ボランティア団体として東北支援を継続しています。

平成30年度

心配ごと相談所開設日程

専門の相談員が対応し、秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。ご家族や福祉関係者からの相談も可能です。

●母子父子自立支援相談(原則第1水曜日※一部変更あり)

経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のための相談。女性の母子自立支援員が対応します。

●女性相談(原則第1・3水曜日※一部変更あり)

家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性のための相談。女性相談員が対応します。

●高齢者・障がい者の弁護士相談 (原則第4水曜日※一部変更あり)

ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごととの相談にのります。

※弁護士相談は完全予約制です

相談時間はおおむね30分間ですので、あらかじめ相談内容をまとめてきてください。

お問合せ・予約受付:

社会福祉協議会 電話 94-0060



内容 月	母子自立支援相談 女性相談 10:00~15:30	女性相談 10:00~15:30	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30~16:30
4月	4日(水)	18日(水)	25日(水)
5月	2日(水)	16日(水)	23日(水)
6月	6日(水)	20日(水)	27日(水)
7月	4日(水)	18日(水)	25日(水)
8月	1日(水)	15日(水)	22日(水)
9月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
10月	3日(水)	17日(水)	24日(水)
11月	7日(水)	21日(水)	28日(水)
12月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
1月	9日(水)※	16日(水)	23日(水)
2月	6日(水)	20日(水)	27日(水)
3月	6日(水)	20日(水)	27日(水)

(※)原則週の水曜日から日程が変更されていますので、ご注意ください。

地域住民の方へ貸し出します!

自動車・車いす等貸出サービス

福祉車両(軽自動車)・普通自動車



自動車の貸出

- 利用条件** ①送迎を利用する方が大口町に居住すること
②貸出車両の保管場所を確保できること
③運転手を確保できること

- 貸出車種** ①車いす利用の方に対する貸出車両は、車いす専用自動車
②ふれあいサロン送迎・生活支援サービス等の地域の活動に対する貸出車両は、車いす専用自動車または普通自動車

貸出回数 原則月2回まで

利用料金 利用料 1回300円(ふれあいサロン送迎は利用料無料)
利用料に加え、走行距離15km未満200円
走行距離15km以上10km単位200円

貸出方法 事前に電話等で予約が必要。貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、健康文化センター正面玄関前で貸出車両をお渡しします。原則8:30~17:15の間に貸出、当日返却。

普通型車いす



松葉杖



車いす・松葉杖の貸出

- 利用条件** ①利用者が大口町に居住している、または大口町に居住する方の親族等が、大口町に滞在し必要とするとき
②1ヶ月以上の利用の場合は、1ヶ月毎の更新手続きができること

貸出期間 必要に応じて延長可能

利用料金 年間500円(1週間以内は無料)1週間を超える利用は、維持管理費として500円の協力金が必要。

貸出方法 貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、その場で貸出品をお渡しします。

※自走式と介助式があります。貸出し可能な在庫についてはお問い合わせください。

貸出サービスについて、詳しくは社会福祉協議会 94-0060までお問合せください。